

整理番号 2022M-089

補助事業名 2022年度 鋳造機械の国際競争力に資する標準化推進

補助事業者名 (一社)日本鋳造協会

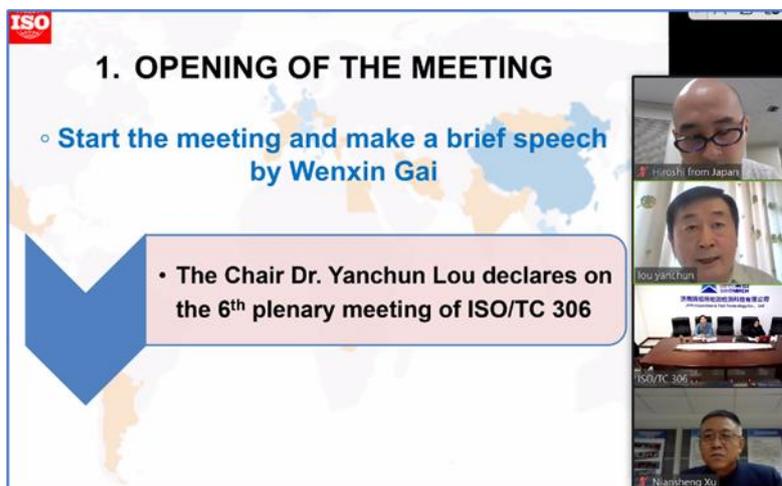
## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本の鋳造機械産業の国際競争力の維持強化に資する国際標準規格を策定することを目的とする。日本鋳造協会がProjectメンバーとしてISO/TC306活動に参加している目的は、日系鋳造機械事業者が国内外で販売する新規設備が世界基準とみなされることで、日本の鋳造機械を使い続けていきやすい環境を醸成することである。

### (2) 実施内容 [https://foundry.jp/about-jfs\\_inc/hyojunka-jigyo/](https://foundry.jp/about-jfs_inc/hyojunka-jigyo/)

- ① ISO/TC306 Working Group (以下、WG)4の国際会議に参加
  - ・参加方法：オンライン(EU各国(ドイツ・フランス・スイス)、中国、15名ほど)
  - ・日時：4月6日(水)15時から19時00分
  
- ② ISO/TC306 Working Group (以下、WG)4の国際会議に参加
  - ・参加方法：オンライン(EU各国(ドイツ・フランス・スイス)、中国、12名ほど)
  - ・日時：10月13日(木)、10月21日(金)15時から19時00分
  
- ② ISO/TC306のPlenary Meeting (以下、PM)に参加
  - ・参加方法：オンライン(各国30名ほど)
  - ・日時：12月1日(木)16時から18時45分
  - ・TC306鋳造機械の活動全体の確認と今後の活動の確認が行われた。



③ 今年度の振り返りの簡易的な打合せを日本鑄造協会事務局で実施

・日時：2023年3月31日（金）

2 予想される事業実施効果

日本と欧州・中国との鑄造機械の規格に相違がある実情を鑑みて、またWTO/TBT（世界貿易機関/貿易の技術的障害に関する協定により国際規格を用いることが義務付けられていることから、ISO/TC306に積極的な意見や規格提案をすることは重要である。会議に積極的に参加することにより、日系鑄造機械が欧州や中国に対抗してグローバル市場での強い競争力を維持していくことができている。また日本にとって不利な規格化を可能な限り排除していくこともできている。

3 補助事業に係る成果物

鑄造ジャーナルと日本鑄造協会のHPに記事を配信した。

<https://foundry.jp/foundry2018/wp-content/uploads/2022/07/5071d51af2a80416f88112fa0f90f399.pdf>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人日本鑄造協会（ニホンチュウゾウキョウカイ）

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館501号室

代表者： 会長 藤原慎二（フジワラシンジ）

担当部署： 国際・機材グループ（コクサイ・キザイグループ）

担当者名： スタッフ 西原 央（ニシハラ ヒロシ）

電話番号： 03-3432-2991

F A X： 03-3433-7498

E-mail： nishihara@foundry.jp

U R L： <https://foundry.jp/>